

独禁法講演会を開催 違反事例など学ぶ

日合協

日本アスファルト合材協会（今泉保彦会長）は17日、東京・八丁堀の東京建設会館内で、独禁法研究会の講演会を開いた。写真。会員各社の製品部門の担当者ら約40人が参加し、注意すべき事業者団体の活動や違反事例などを学んだ。



開会に当たり、久保博部会長は「社会インフラの要を担う道路の維持と、災害復旧という重要な使命を果たすため、常に安定した経営環境を維持しつつ、万全の態勢で臨むことができるよう、日合協は法令順守の下、全国の工場

の支援に最善を尽くす。そのためには、会員の皆さんが法令に対する正しい知識を身に付け、適正な協会活動に積極的に参画し、強い意思を持って力を合わせ、積み上がる課題の解決に取り組まなければならない」とあいさつした。

講演会では、公正取引委員会経済取引局取引部取引企画課相談指導室の担当者が、事業者団体規制の概要や競争を制限する・制限しない共同行為などを解説した。

